

令和4年度ホタテガイ採苗情報（第5報）

令和4年5月26日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



ホタテガイの付着が継続、付着稚貝数は横ばい～減少傾向。

< 調査結果の概要 >

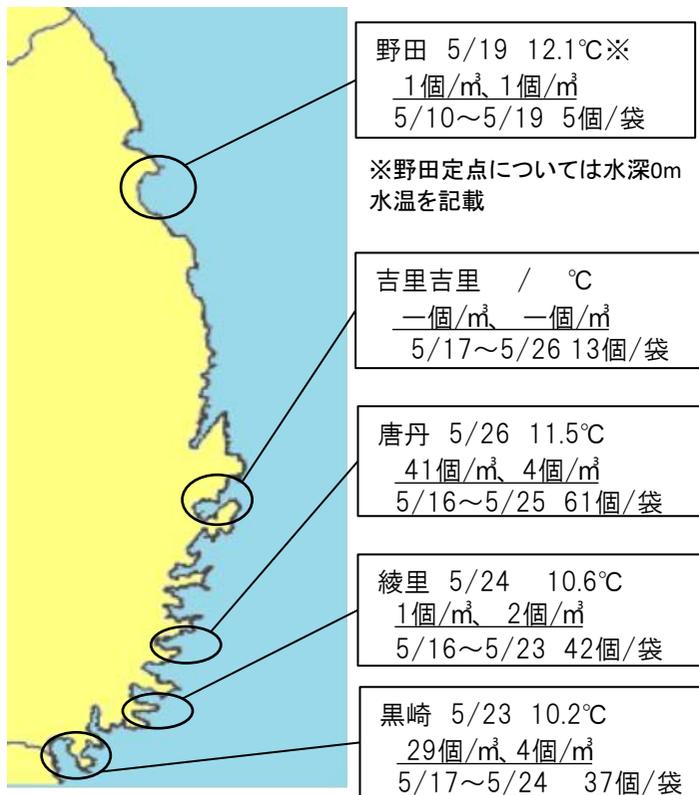
- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.5℃で、透明度は9.0mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが41個/m³、200μm以上の大型のラーバが4個/m³出現しました。
- 唐丹湾ではホタテガイ付着稚貝が61個/袋（採苗器9日間垂下）確認され、そのうち付着直後の稚貝は19個/袋（ホタテガイ付着稚貝数全体の31%）でした。
- 唐丹湾では、先週に比べラーバ出現数、一週間当たりの付着稚貝数が減少しました。
- 県下沿岸各地でも稚貝の付着が継続していますが、付着稚貝数は横ばい～減少傾向です。

< 陸奥湾の状況（5月18日発行ホタテガイ採苗速報（第6号）） >

- ホタテガイの付着は全湾で終了。

< 宮城県の状況（5月19日発行ホタテガイ採苗通報（第4報）） >

- 稚貝の付着は継続。分散投入を心がけるよう呼びかけ。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月1日頃に
発行する予定です。

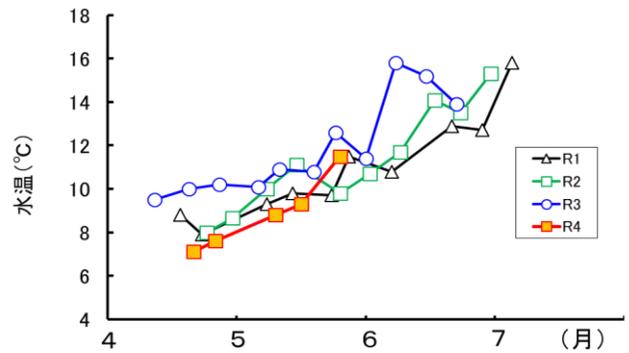


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

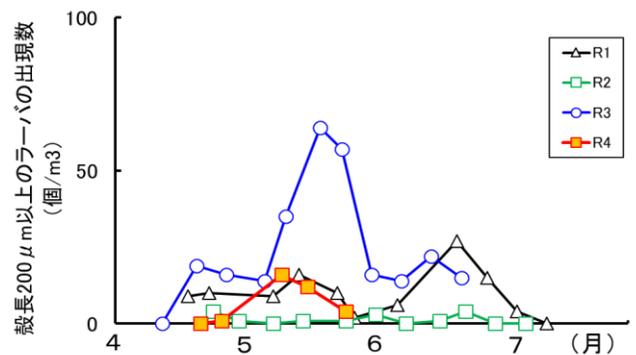


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

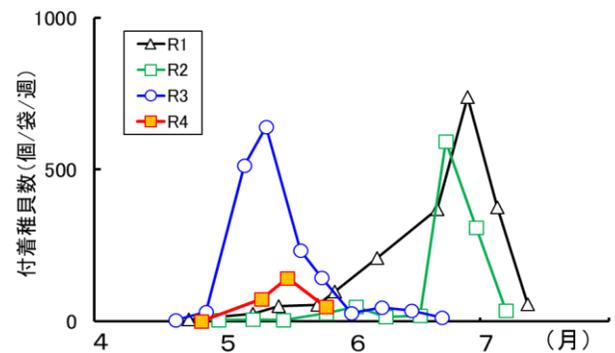


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数